

仕様書**形名: 9768-02 品名: LAN モジュール メール オプション**

9768 Smart Site Utility Pro の機能を拡張するソフトウェア（日本語版）

■ 形名および品名

形名: 9768-02
品名: LAN モジュール メール オプション

■ 製品構成

下記内容が含まれる CD-R 1枚
・LAN モジュールメールオプション
・使用許諾契約書（PDF ファイル形式）

■ 主な機能と特徴

9768 Smart Site Utility Pro (Smart Site Utility)に 2353 LAN モジュール、2354 メモリモジュールのメール送信機能の設定機能を付加し、通信モジュールで以下の機能が使用可能になる。

○メール送信機能

- ・2353 LAN モジュールまたは 2354 メモリモジュールに接続された計測モジュールにおいて、アラーム発生などが発生したときに、メール送信を行うことが可能
- ・登録可能なメール送信先アドレスは最大 20 個
- ・対応プロトコル: SMTP、POP Before SMTP
- ・テストメール送信機能

○ネットワーク警告灯の制御

※メール機能を 2353 LAN モジュールで使用する場合、ファームウェアのバージョンが 2.35 以上の 2353 LAN モジュールが必要
※制御可能なネットワーク警告灯は、アイエスエイ社製ネットワーク警告灯「DN-1000 シリーズ」

■ 関連製品

2300 遠隔計測監視システム シリーズ
9768 Smart Site Utility Pro

■ 動作環境

パソコンの動作環境

本体	CPU:動作クロック 1GHz 以上 OS:Windows 2000/XP .NET Framework 2.0 Internet Explorer 5.01 以上
メモリ	512MB 以上
画面表示	解像度 1024×768 ドット、65536色以上
ハードディスク	空き容量 30MB 以上 (ただし.NET Framework2.0 がインストールされていない場合、別途約 500MB 必要) 記録データの保存は別途必要
インタフェース アプリケーション	LAN 9768 Smart Site Utility Pro バージョン 4.2 以上

■ 構成 9768-02 LAN モジュール メール オプション

LAN モジュール メール オプションをインストールすることで、9768 スマートサイトユーティリティ プロに次のメニュー・機能が付加される。

※その他、9768 スマートサイトユーティリティ プロの基本構成については、別紙の「仕様書 9768 スマートサイトユーティリティ プロ」の構成を参照

Smart Site Utility

メールの設定	
メール基本設定	
	SMTP サーバ名
	SMTP サーバポート番号
	通信モジュールのメールアドレス
	メールの題名
	デフォルトゲートウェイ
	DNS サーバアドレス
	POP Befor SMTP で認証
	POP メールサーバ名
	POP サーバポート番号
	(POP)ユーザ名
	(POP)パスワード
	モジュール数が変化したときの送信メールアドレス
アラーム通知リスト	
	アラーム通知する測定項目
	通知する現象
	送信先メールアドレス
	メールアドレスの追加／削除
	ネットワーク警告灯の制御
	IP アドレス
	発生時コマンド
	解除時コマンド
メール送信のテスト	

■ 機能・仕様

 パソコンインタフェース

○LAN

 メール送信機能

○メール送信のトリガ

2353 LAN モジュールまたは 2354 メモリモジュールに接続された計測モジュールにおいて、次の事象が発生したときに、メール送信を行うことが可能

- ・計測モジュールのモジュール数が変化(削除、追加)した場合
- ・計測モジュールの測定項目において、本体アラーム判定でアラーム状態が発生、解除した場合

○監視対象の測定項目数

メール送信の監視対象として登録可能な測定項目は、2353 LAN モジュールまたは 2354 メモリモジュール 1 台につき最大 80 項目

○メール送信先アドレス

登録可能メールアドレス	最大 20 個
1 回に送信可能なメールアドレス数	登録済みメールアドレスの中から最大 4 個のメールアドレスに対して送信可能
メールアドレスに設定可能な文字数	半角文字で最大 50 文字

○メールに任意のコメントを付加可能

コメントに設定可能な文字数: 最大 20 文字

○対応プロトコル

SMTP、POP Before SMTP

○テストメール送信機能

9768 Smart Site Utility Pro の操作で、テストメールを送信可能

 ネットワーク警告灯制御機能

メール送信機能で監視対象に設定された測定項目において、アラームの発生／解除の事象が発生した際に、ネットワーク警告灯に任意のコマンドを送信することが可能

※制御可能なネットワーク警告灯は、アイエスエイ社製ネットワーク警告灯「DN-1000 シリーズ」

□ メール設定機能:メール基本設定、メール送信テスト

○送信設定(SMTP 設定)

SMTP サーバ名: SMTP サーバの名前又は IP アドレスを指定(最大 46 文字)
 SMTP サーバポート番号: ポート番号を指定(0~65535 から選択)
 通信モジュールのメールアドレス: メールの差出人にあたるメールアドレス(最大 50 文字)
 メールの題名: メールの題名(最大 23 文字)

○デフォルトデフォルト/DNS 設定

デフォルトデフォルト: 2353 が設置されるネットワークにおけるデフォルトゲートウェイの IP アドレス
 DNS サーバアドレス: DNS サーバの IP アドレス
 SMTP サーバ名または POP サーバ名を IP アドレスではなく名前を設定する場合は、必ず設定する。

○POP 設定

POP Before SMTP で認証: メール送信時に POP 認証が必要な場合はレ点を入れ、設定を有効にする
 POP メールサーバアドレス: POP サーバの名前又は IP アドレスを指定(最大 46 文字)
 POP サーバポート番号: ポート番号を指定(0~65535 から選択)
 ユーザ名: POP サーバでの認証に使用するユーザ名(最大 15 文字)
 パスワード: POP サーバでの認証に使用するパスワード(最大 20 文字)

○メールアドレスリスト

[送信メールアドレス]への登録に使用するメールアドレスのリスト

1メールアドレスに登録可能な文字数は最大 50 文字

※このリストには 20 個以上のアドレスを登録可能

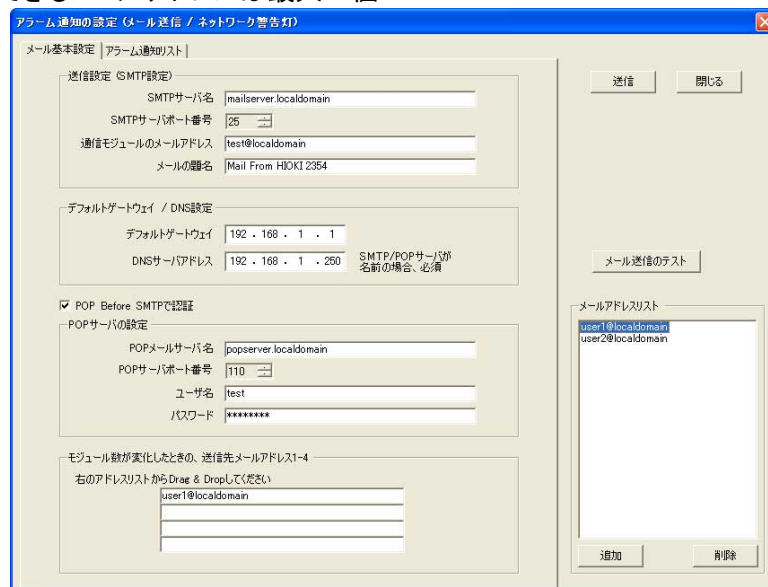
最終的に 2353 に設定を送信する際に、各項目の送信先メールアドレスに登録されたメールアドレスの総数(同一のメールアドレスは重複してカウントしない)は、最大で 20 個に制限される。

○モジュール数が変化したときの、送信先メールアドレス

2353LAN モジュールまたは 2354 メモリモジュールに接続されているモジュール数が変化したときにメール送信する場合は、この欄に送信先メールアドレスを設定する。

・[メールアドレスリスト]からメールアドレスをドラッグアンドドロップして、送信先メールアドレスを選択

・送信先に設定できるメールアドレスは最大 4 個



メール設定(メール基本設定)画面例

□ メール設定機能: アラーム通知リスト

○アラーム通知可能な測定項目リスト

アラーム設定が有効になっている計測モジュールの一覧

○アラーム通知する測定項目

アラーム発生時にメール送信を行う測定項目の一覧

測定項目は、[アラーム通知可能な測定項目リスト]から測定項目をドラッグアンドドロップすることにより登録

登録可能な測定項目は最大 80 項目

○通知する現象

[アラーム通知する測定項目]で選択されている測定項目について、どのような場合にメール送信またはネットワーク警告灯の制御を行うかを設定

設定可能な状態は[アラーム発生時]、[アラーム解除時]の2つ

○メールにつけるコメント

メール本文に挿入されるコメントを、最大 20 文字で設定可能

○送信先メールアドレス

送信先メールアドレスを、最大4個登録可能

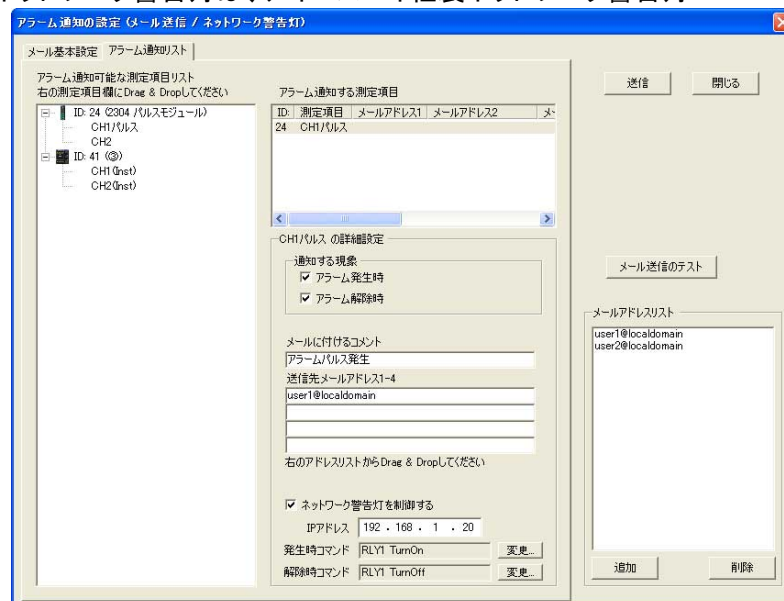
登録は、[アドレスリスト]から任意のメールアドレスをドラッグアンドドロップすることにより行う。

○ネットワーク警告等を制御する

[通知する現象]が発生した際に、ネットワーク警告等を制御する場合は、レ点を入れて設定を有効にし、次の項目を設定する。

- ・IP アドレス: ネットワーク警告灯の IP アドレス
- ・発生時コマンド: [通知する現象]で[アラーム発生時]を選択した場合、アラーム発生時にここで設定したコマンドが、ネットワーク警告灯に送信される。
- ・解除時コマンド: [通知する現象]で[アラーム解除時]を選択した場合、アラーム解除時にここで設定したコマンドが、ネットワーク警告灯に送信される。

※制御可能なネットワーク警告灯は、アイエスエイ社製ネットワーク警告灯「DN-1000 シリーズ」



メール設定(アラーム通知リスト)画面例

□ メール送信内容

○アラームが発生・解除したときのメール

メール設定で、[メールの題名]を“アラームメール”、[メールコメント]を“温度 1”に設定し、MODULE ID:2 の 2302 の CH1 の上限値を「33℃」に設定して監視を行い、アラームが発生したときと解除したときに、COM ID:53 の 2353 LAN モジュールから送信されるメールの例

題名 : アラームメール
本文 : 2353 LAN モジュール

時刻:2005/09/26 11:37:30
本文:温度1
ID 機種:53.02 2302
アラーム概要:アラーム発生
アラーム詳細:上限値
パラメータ:CH1
閾値:+33.0000℃
現在値:+33.5000℃

アラーム発生メール例

題名 : アラームメール
本文 : 2353 LAN モジュール

時刻:2005/09/26 11:40:25
本文:温度1
ID 機種:53.02 2302
アラーム概要:アラーム解除
アラーム詳細:上限値
パラメータ:CH1
閾値:+33.0000℃
現在値:+32.8000℃

アラーム解除メール例

○モジュール数が増減したときのメール

メール設定で、[メールの題名]を“アラームメール”、[メールコメント]を“温度 1”に設定し、MODULE ID:2 の 2302 が停電したり、モジュールベースから抜き差しされた場合などに、COM ID:53 の 2353 LAN モジュールから送信されるメールの例

題名 : アラームメール
本文 : 2353 LAN モジュール

時刻:2005/09/26 11:55:13
本文:温度1
ID 機種:53.02 2302
状態:削除

モジュール削除時のメール例

題名 : アラームメール
本文 : 2353 LAN モジュール

時刻:2005/09/26 11:55:30
本文:温度1
ID 機種:53.02 2302
状態:追加

モジュール追加時のメール例